

2020年2月4日

報道関係各位

株式会社カネカ

IR・広報部

カネカのシースルー太陽電池 国立競技場に採用
— 高効率結晶系シースルー太陽電池の技術を活用 —

株式会社カネカ（本社：東京都港区、社長：角倉 護）の高効率結晶系シースルー太陽電池*が、国立競技場に採用されました。

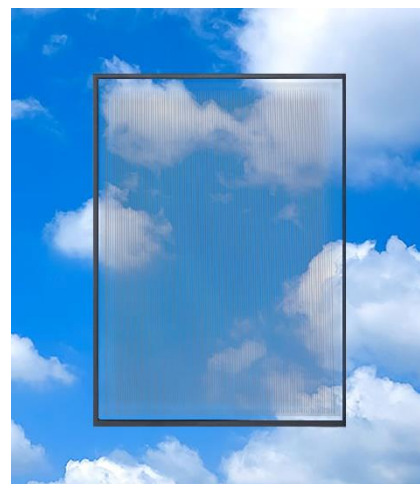
今回採用されたシースルー太陽電池は一般建築物の天窗や窓などの開口部向けに開発されました。透明のガラス窓のような意匠を備えつつ太陽光で発電し、採光性と眺望性が確保されます。ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）に貢献する創エネルギー技術として、環境経営やBCPを強化する企業、公共施設などに積極的に提案しており、採用検討が進んでおります。

当社は住宅向け太陽光発電システムに加えて、住宅以外の建物や高層ビルなどの建築物の壁や窓などのあらゆる箇所に設置でき、建築物デザイナーの意匠要求にも応える独自の太陽電池製品を開発していきます。今後も、独自の太陽電池製品と設計提案、工法提案を強化し、環境・エネルギー問題へのソリューションを提供してまいります。

以上



国立競技場内観
(大成建設株式会社提供)



高効率結晶系シースルー
(実際の眺望性は写真と異なることがあります。)

* 合わせガラスの間にストライプ状の結晶系シリコン太陽電池を配置することで採光機能を付与した太陽電池。網入りガラスを複層化した火災安全機能が付与されている。

注記：国立競技場の写真は大成建設株式会社から提供されたものです。